

2008/10/4

ニュース

「埼玉の子ども70万人体験活動」小川高等学校の皆さんが来学されました

埼玉県の事業である「埼玉の子ども70万人体験活動」で県立小川高等学校1年生の生徒さん49名が城西大学薬学部を訪れ、体験実習を行いました。

体験実習は、今年5月に完成したばかりで、7階建ての新薬学部棟(18号館)の実習室で行われました。

午前10時から午後1時45分と短い時間でありましたが、生徒の皆さんは下の2つのテーマから興味のあるものを選んで体験しました。

テーマA. 生命倫理: 麻酔薬の効果を観察しよう

テーマB. 薬剤業務: もっとくすりや薬剤師の仕事を知ろう-模擬薬局で薬剤業務を体験しよう-

各テーマの概要は以下のとおりです。

### テーマA. 麻酔薬の効果を観察しよう!

脳は多数の神経細胞の集合体です。外からの情報を計算し、判断して、身体の働き(運動、内臓の働きなど)をコントロールしている臓器です。全身麻酔薬は、一時的に、脳の働きを低下(意識の消失および無痛状態をおこす)させて、全身の機能を抑える目的で、おもに病院での手術の時に使用されています。近代麻酔は、エーテルという揮発性の液体の薬物から始まりました。これを吸入することにより、外科手術が可能になり、多くの命が救われるようになりました。一方、別の系統の全身麻酔薬に、静脈内注射で用いられるものがあります。今回の実験では、指導教員のもとで、マウス(実験動物)にこれらの全身麻酔薬を投与し、その効果を実際に観察しました。そして、麻酔と麻酔薬について知ることができました。

### テーマB. もっとくすりや薬剤師の仕事を知ろう-模擬薬局で薬剤業務を体験しよう-

薬剤師は、処方箋の受付から調剤録の作成、調剤過誤を防ぐための疑問点なく調剤を行うこと(疑義照会)、また調剤がきちんと執り行われているかどうかを確認すること(薬剤鑑査)、さらに、患者が医薬品を正しく服用してもらうように説明する服薬指導、薬歴管理を行なうこと、その他にも医薬品の供給や薬事衛生、学校薬剤師などの業務があります。これらのような多岐に渡る薬剤師の仕事や特殊製剤について、本学の模擬薬局で実際に体験しました。

体験実習終了後は、修了証を受け取り日程を終了しました。今回の体験を通じて、今後のために役立つ何かを得ていただけたら幸いです。また、機会がありましたら是非もう一度城西大



白幡学部長から来学された生徒さんへの挨拶



テーマAの実習風景(1)



テーマAの実習風景(2)



テーマBの実習風景(1)



テーマBの実習風景(2)

学薬学部へお越しください。教員一同お待ちしております。



実習終了後の修了証書の授与式の様子

---

閉じる